

不要なお皿の買い取りの**はずが**、 大切な貴金属も強引に買い取られた！

—訪問購入のトラブルが増えています—

【事例1】

突然自宅に電話があり、「皿1枚だけでもいいので」と食い下がられしかたなく訪問を承諾した。訪問を受けた際「鑑定してあげるから」などと言われ、結局売るつもりのない貴金属まで強引に買い取られてしまった。

(70歳代 女性)



【事例2】

「不用品を買い取る」という電話だったのに、「貴金属はないか」「査定だけでも」と長時間居座られ、根負けして貴金属数点を約1万円で売ってしまった。冷静に考えると1万円は安い。取り戻したい。(60歳代 女性)



ここが問題！訪問購入のトラブル！



- 「なんでもいいから不用品はないか」「被災地支援に協力してほしい」など、あの手この手で心理的ハードルを下げて来訪の承諾を得ようとする手口が見られます。
- 売るつもりがなかった物品も強引に買い取られる事例が目立ちます。

トラブルに遭わないためのポイント！

- 買い取りの勧誘を承諾していない貴金属の売却を迫られたら、きっぱり断りましょう。
- クーリング・オフ期間内は、購入業者に物品の引き渡しを拒むことができます。
期間内は物品を渡さないことも一つの手です。



独立行政法人

国民生活センター

(2023年9月作成)